

津波の爪痕を後世に残すために、到達点に桜を植える人々の物語。



# 陸前高田ドキュメンタリー あの街に桜が咲けば

2011年3月11日。

東北地方太平洋沖地震によって  
多くの街が津波に飲み込まれた。

あれから3年経った。

岩手県陸前高田市では地元出身者が中心となり  
津波最高到達点に桜の植樹が行われている。

彼らが桜に、そして未来に託す想いとは。



\* 主題歌『LOST』 後藤正文 (ASIAN KUNG-FU GENERATION) \*



－ 家族や大切な人と見て欲しい －

悲しみを悲しみに終わらせない未来に紡ぐドキュメンタリー

出演：戸羽 太 / 津田 大介 / 国崎 信江 / NPO 法人 桜ライン 311 他

監督・撮影・編集・ナレーション 他：小川光一

2014 年 / 40 分 / 日本 / Color HD

<http://anosaku.ifdef.jp>

「頭」じゃなくて「心」で見て欲しい。  
あっという間の40分でした。(10代女性)

監督の人柄が垣間見える優しい作品でした。  
恐怖心を煽ることなく、それでいて希望的観測もない。  
こういう被災地ドキュメンタリーをずっと待っていました。(50代男性)

東京で風化してると言いながら、自分自身の中でも風化している  
ことに気付いた。もう一度、原点に立ち返って、「俺は何をすべきか」  
っていうことにこの映画で向き合えた。(20代男性/陸前高田市在住)

## 自分の街で災害が起きた時、 あなたは大切な人を守れますか？

陸前高田ドキュメンタリー『あの街に桜が咲けば』  
(Twitter @anosaku)

岩手県陸前高田市では、東日本大震災の教訓を後世に残すために、NPO法人 桜ライン 311 という団体によって、市内の津波最高到達点に桜を植える活動が行われている。同じ悲しみを繰り返して欲しくないという想いで桜を植える彼らの姿を通して、全国の人々に対する減災意識の喚起ができないか。そんな想いから制作されたのが今作品となる。

また、陸前高田市長・戸羽太氏やジャーナリスト・津田大介氏、危機管理アドバイザー・国崎信江氏などのインタビューも敢行。災害というものをも多角的に見つめるための一助となっている。

小川光一監督の代名詞ともいえる入り込む取材は、今回の制作途中に桜ライン 311 の理事就任を果たしたほど。そんな彼だから引き出せた陸前高田という“町”に生きる人々の本音が詰まった40分。ただ悲しみを切り取っただけの記録映画じゃない。「いざという時、あなたは大切な人を守れるんですか？大切な人を失ってから後悔するんですか？」全国の人々に生き抜く力を問う異色のドキュメンタリー。

監督：小川光一  
(Twitter @Koichi\_Ogawa)

1987年東京生まれ。多数のNPOおよびNGOに所属し、国際協力や東北支援を中心に活動中。「他人の痛みを想像できる人間であれ」を信条に掲げている。今作が2010年制作『それでも運命にイエスという。』(UFPFF 国際平和映像祭発表会選出)以来、待望の二作品目となる。



映像制作 NGO LUZ FACTORY 代表理事 / アフリカ支援 NPO 法人 MUKWANO 第三期正会員 / 陸前高田 NPO 法人 桜ライン 311 理事 / カンボジアエイズドキュメンタリー『それでも運命にイエスという。』監督 / 国際協力カフェ INSTEP LIGHT 店主 (2012年9月閉店) 他

「上映スケジュールを知りたい方」「学校やオフィス、公民館などで自主上映会を開催したい方」  
公式サイトにて詳細が掲載されております。 <http://anosaku.ifdef.jp>

陸前高田ドキュメンタリー『あの街に桜が咲けば』

製作：映像制作 NGO LUZ FACTORY 監督・撮影・編集・ナレーション 他：小川 光一

出演：岩手県陸前高田市長 戸羽 太 / 危機管理アドバイザー 国崎 信江

ジャーナリスト 津田 大介 / NPO 法人 桜ライン 311 他

協力：Mapion ZENRIN 北海道地図株式会社



THE FUTURE TIMES

後援：岩手県陸前高田市